

銚子連絡道路の早期完成を!

第2回銚子連絡道路整備促進地区大会

去る6月4日、山武・東総地区の17市町村で構成する「山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会」主催による「第2回銚子連絡道路整備促進地区大会」が光町体育館を会場に開催され、関係市町村から参加した約1000人のみなさんが銚子連絡道路の早期完成に氣勢をあげました。

現在千葉県においては、県都千葉市まで県内のどこの地域からも1時間で到達できるように幹線道路網の整備が進められております。銚子連絡道路につきましても、昨年3月に開通した千葉東金道路2期道路の松尾・横芝インターから銚子間約33kmを結ぶ地域高規格道路として平成6年に計画路線として指定を受け、平成9年には光町地先までの約6km区間が事業化され、現在平成18年の完成に向け事業が進められております。

今後は更に、銚子市まで整備が進められていきますが、交通の利便性や走行性の向上のみならず、本道路の果たす役割は山武・東総地域にとって大変重要であり、早期整備が強く求められています。そこで、行政と地域が一体となって本事業の推進を図ろうと昨年に続いて本大会が開催されました。

この日は、初めに期成同盟会会長の加瀬旭市長が「山武・東総地域の経済の活性化、発展に欠かせない銚子連絡道路の早期完成に向け、みなさんのご協力をお願いします」と挨拶。続いて、沼田知事や林代議士など来賓のみなさんの挨拶や紹介が行われ、地元の向後光町長が決議(案)を読みあげ大会は終了しました。

大会終了後は、テレビなどでおなじみの白鷗大学教授の福岡政行氏がユーモアを交えながら「まちづくりは みんなの手で」と題した基調講演を行い、集まった大勢のみなさんは熱心に聞き入っていました。



一夏期農業改良共進会一

横芝町農業振興会園芸部会(齊藤信夫部会長)主催による、第24回夏期農業改良共進会が6月18日(金)、役場駐車場を会場に行われ、メロンやバンタムなどが多数出品されました。

毎年、この共進会に出品される作物はどれも品質がよく審査員を悩ませていますが、今年も審査に当たった農業改良普及センター職員やJA山武郡市の営農指導員は「どの品物も甲乙つけがたい良いものばかりです」と話していました。

主な審査結果は次のとおりです。

—敬称略—

▼千葉県園芸協会会長賞

伊藤智子 [北清水] バンタム(味来)

▼山武支庁長賞

怒賀静雄 [中台] タカミメロン

▼山武農業改良普及センター所長賞

伊能 央 [鳥喰下] バンタム(キティー)

▼横芝町長賞

斉藤信子 [栗山] ナイルメロン



粗大ゴミが昨年の1.6倍

”町内一日清掃”

5月30日の日曜日、本年度第一回目の「町内一日清掃」が早朝から一斉に実施され、道路脇の草刈りや側溝掃除、空き缶ひろいなどみなさんクリーンなまちづくりに精を出しました。

「町内一日清掃」は、ゴミゼロ運動の一環として昭和57年から毎年2回実施されておりますが、収集されるゴミの量は年々増え続け、今回も昨年の同時期よりも更に多い8.8トンが収集されました。特に、家具類や自転車、タイヤ等の「不法投棄」による粗大ゴミの増加が目立ち、その量は昨年の約1.6倍となっております。

町民のみなさん一人ひとりが監視の目を光らせ、環境美化をそこなう「不法投棄」をなくしましょう。